

3 「地区計画策定ステップ事業」報告

地区計画策定ステップ事業 〈連合自治会単位・地区社協モデル地区で展開〉

わが街、わが地区ならではの福祉活動、課題や可能性を住民主体で見つめなおし、“地区別計画”策定を目指し事業等を通じてその基盤づくりと取り組みを進めます。

活動者とサポートを必要な方の代弁者・両方の顔を持つ地区社協が主体となり、地区ならではの福祉活動の課題や可能性を

①発見 → ②発信 → ③参画 → ④充実・達成 → ⑤再発見

のステップで検証、地区が一丸となって計画づくりに取り組める基盤づくりを行います。

《進め方の具体例》

- ① 地区現状分析表の作成
- ② 計画の担い手・受け手へのヒアリング調査
- ③ 地区課題の検討
- ④ 地区課題の住民への発表

地区計画の策定へ！

初年度のH20年度は、白山・山下・霧が丘・長津田の4地区社協がモデル地区となり、自治会や民生委員をはじめ、地域住民の理解と協力を得て、地区特性を活かした取り組みを行いました。

1 白山地区：「地区一丸で行動！解決！「白山ささえ愛プラン」」

①地区社協PR ②誰でも参加できるボランティア活動 ③地域団体の連携・財源確保

地区の各活動団体の啓発と一体での地域づくり、「白山ささえ愛プラン」の更なるステップアップを目指します。

主な内容 (申請時)	<ul style="list-style-type: none"> ●地区の各活動団体の啓発と一体での地域づくりを進めていく。 ●「白山ささえ愛プラン」を更にステップアップし「地区社協を知ってもらうPR」「誰でも参加できるボランティア活動」「地域で自主的に活動する団体同士の連携・財源確保」を進めるのに講演会やアンケート実施等も企画する。
具体的活動	<p>地区社協理事会で、合意と課題検討を毎月実施してきました。</p> <p>地区社協PRでは、地区社協広報紙を数年ぶりに発行、全戸配布しました。また“のぼり”を作成し、白山福祉まつりより使用し始めています。</p> <p>同まつり参加者アンケートでは住民が感じる地域課題を調べられるようにし、回答者には、地区社協ラベルを貼ったカイロを渡す工夫も行いました。</p>
今後の展開	<p>白山福祉まつりでのアンケート集計結果をふまえ、特に高齢者も足を運べるようプログラムを考えること、また「助けてほしいこと」アンケートも準備中です。</p> <p>事業の良い点、見直したい点を地区全体で、共有・検討してリニューアル・発展させるといふ、プランづくりの“ステップ”に期待が寄せられます。</p>

社会福祉大会プラン取り組み報告では、カラー刷り広報紙をご紹介しました。

①区役所・区社協等が協働で推進する事業

みどりのわ・ささえ愛プラン
地区計画策定・「ステップ事業」その3



①区役所・区社協等が協働で推進する事業

みどりのわ・ささえ愛プラン
地区計画策定・「ステップ事業」その4



2 山下地区：「住民視点の防災マップ！人のつながり再確認」

発災時には、身の安全確保と隣近所の声かけあいがかぎになります。水害に悩んだ時代もある地区だからこそ、防災対策の整備や、住民が顔見知りになって集まれる場や関係づくりに、まずは地区内の小モデル2地区で取り組みます。

<p>主な内容 (申請時)</p>	<p>●防災対策の整備と組織化を通じ、ささえあう地域づくりを地区内2単位自治会を小モデル地区に展開。</p> <p>●青砥町自治会・青砥団地自治会を小モデル地区に、防災対策の整備と組織化を通じて住民が顔見知りになって集まれる場や関係づくりに取り組む。併せて地区懇親会や防災データマップづくりも行っていく。</p>
<p>具体的活動</p>	<p>地域防災拠点が高いとき、まず身を寄せられる地域ならではの近くの協スペース、社員寮や学生寮、寺社、福祉施設など近くに身を寄せられる協力施設と災害用井戸の調査を足で歩いて行いました。</p> <p>また“のぼり”を作成し、自治会、学生寮生らとの合同防災訓練にも参加しました。</p>
<p>今後の展開</p>	<p>調査結果を山下地区全体図+自治会地区別での複数パターン作成できる形式のレイアウトでマップ化しました。</p> <p>この防災データマップの進捗報告と配布を進め、次には顔見知りになり、支えあう関係づくりを目指します。</p> <p>例えば、マップ配布を兼ねた地区懇談会の開催や、地区でのサロンの立ち上げ準備などを進めることを通じ、着実な“ステップ”に期待です</p>

社会福祉大会プラン取り組み報告では、防災マップとのぼりをご紹介します。

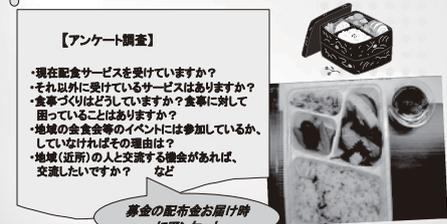
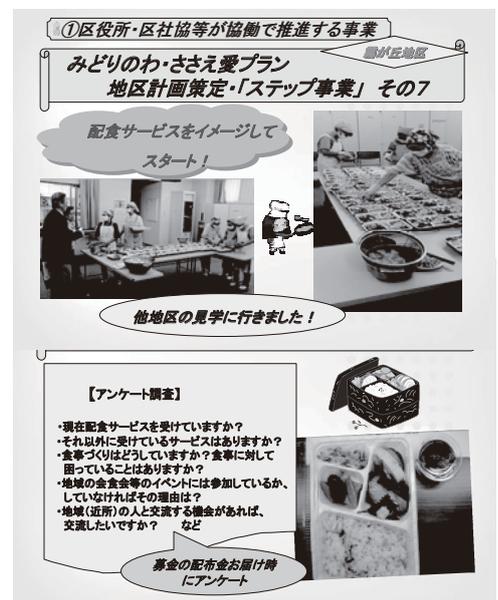


3 霧が丘地区：「生活支えるわが街サービス！食を通じて見守り活動」

住み慣れたわが地区、霧が丘ならではのささえ合い活動の充実に、まずは食べることを通じた在宅支援サービスにスポットを当てて取り組みます。

<p>主な内容 (申請時)</p>	<p>●自治会・民児協、地域ボランティア等と協働して、霧が丘地区らしい在宅支援サービス提供を目標に、対象者への調査、検討・実施というステップを踏む。</p> <p>●高齢や障がい等で外出が難しい方への「配食サービス」「訪問理美容サービス」を中心に検討を進める。</p>
<p>具体的活動</p>	<p>「配食サービス」より着手。区内区外問わず複数の先行活動のヒアリングに行き、効果と課題を直に確認しました。</p> <p>また利用する側の希望を聞き取るために、年末たすけあい募金の戸別配分金をお届けする際、アンケート調査を行いました。</p>
<p>今後の展開</p>	<p>アンケートの集計を進めていく中で、自立した生活や、なにより地区社協会食会など地区内での集える場への参加が定着している様子が分かってきました。</p> <p>これから結果をふまえてどんなサービスを形づくるか、丁寧な“ステップ”に期待です。</p>

社会福祉大会プラン取り組み報告では、ヒアリング、アンケート調査をご紹介します。



4 長津田地区：「次は子どもにスポットを！思いやりのある人が育つ地域づくり」

地域ぐるみの受け手と担い手のやりとりを大切に、より活発な福祉活動を行っていかう！！という想いを胸に、高齢、障がい分野に続き、次は子どもへの支援に取り組みます。

<p>主な内容 (申請時)</p>	<p>●自治会・民児協と協働し、思いやりのある人を育てる地域づくりを、継続的な「子ども」への支援を中心に検討をしていく。</p> <p>●また、あらためて地域の支援を必要としている方々に対する福祉活動の充足度や、実際に当事者が必要としている福祉活動、またその担い手についてなど再検討し、地区計画策定の準備に取り組む。</p>
<p>具体的活動</p>	<p>実行委員会を立ち上げ、検討を重ねるなかで、地域と中学生の間の交流が手薄ということが見えてきました。イベントやパトロール、あいさつなどを介して交流を図り、「安心できるまちづくり」を目指しては、という意見があがり、田奈中学校生徒会役員や、同中学校福祉委員へのヒアリング調査を行いました。</p>
<p>今後の展開</p>	<p>地域の活動に対する中学生の認知度の低さが明らかになった反面、戦争体験の話や昔体験等を介して交流を図りたいという希望も持っていること、また登下校時のパトロールを求めていることもわかりました。</p> <p>ヒアリングを継続して進めるか、具体的なスローガン、活動を決めていくのか、地区計画策定にむけての“ステップ”に期待です。</p>

社会福祉大会プラン取組み報告では、実行委員会と中学生とのヒアリング、交流についてご紹介しました。

①区役所・区社協等が協働で推進する事業

みどりのわ・ささえ愛プラン
地区計画策定・「ステップ事業」その9

長津田地区計画策定ステップ事業実行委員

たくさんの方が実行委員に
なってくださいました

実行委員長	長津田地区社協会長	山口 浩	副委員長	田奈中学校 校長	金子 清一
事務局	長津田地区社協事務局次長	中塚 康之	副委員長	田奈中学校 PTA会長	山下 博基
	長津田地区社協事務局次長	金井 芳		長津田小学校 校長	阿部 心さな
	長津田地区社協事務局次長	佐藤 英男		長津田小学校 PTA会長	杉崎 亞
会計	長津田地区社協会計部長	秋山 博昌		長津田第二小学校 校長	渡辺 辰徳
	長津田自治連合会福祉保健部長	大津 義博		長津田第二小学校 PTA会長	菅野 彰子
	主任児童委員	深谷 佳子		いぶき野小学校 校長	丸本 高樹
	主任児童委員	百武 真澄		いぶき野小学校 PTA会長	大内 隆
	主任児童委員	井上 典子		長津田地域ケアプラザ	杉崎 雅代
			事務局	長津田地区社協協議会	高橋 好朗

①区役所・区社協等が協働で推進する事業

みどりのわ・ささえ愛プラン
地区計画策定・「ステップ事業」その10

終わってから
実行委員会メンバー
との意見交換

田奈中学校の福祉委員会が
地域ケアプラザのデイケアを訪問



地区計画策定ステップ事業は、

住まう人皆が“計画が必要なんだ、計画をつくっていかう”という土壌づくりを、段階(=ステップ)を踏んで地区社協を中心にすすめていかうとする事業です。

私たちの日ごろの地域活動は価値あるもの。～もっとその意義や進捗状況を知ってもらいたい～

そしてせっかくなら達成目標と評価基準を持って、さまざまなグループや団体と一体的に活動しないともったいない。

そういった思いを目に見える形にして、地区計画を皆で考え実行していくためのステップとして、H21年度も地区社協を中心に取り組みます。